平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年８月７日

上 場 会 社 名　丸一鋼管株式会社　　上場取引所　東 大
コ ー ド 番 号　5463　　ＵＲＬ　http://www.maruichikokan.co.jp
代　　表　　者　（役職名）取締役社長　（氏名）鈴木　博之
問合せ先責任者　（役職名）執行役員経理部長　（氏名）河村　康生　（TEL）06-6531-1201

四半期報告書提出予定日　平成24年８月９日
配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	28,703	△2.3	3,678	△15.8	4,167	△15.7	△1,044	－
24年３月期第１四半期	29,374	4.8	4,370	△7.5	4,942	△13.2	3,158	△8.3

（注）包括利益　25年３月期第１四半期　△865百万円（－%）　24年３月期第１四半期3,049百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	△12.26	－
24年３月期第１四半期	36.93	36.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	244,851	211,284	82.9
24年３月期	249,225	214,382	83.0

（参考）自己資本　25年３月期第１四半期　203,088百万円　24年３月期　206,948百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	20.00	－	28.50	48.50
25年３月期	－				
25年３月期(予想)		20.00	－	21.50	41.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	58,400	△1.7	6,300	△23.9	7,400	△22.6	900	△81.2	10.58
通期	123,300	2.2	13,500	△13.5	15,200	△13.9	5,800	△22.2	68.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

４．注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：無
新規　―社　（社名）　、除外　―社　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：有
④ 修正再表示　：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年３月期１Ｑ	94,000,000株	24年３月期	94,000,000株
② 期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	8,770,375株	24年３月期	8,774,775株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年３月期１Ｑ	85,226,325株	24年３月期１Ｑ	85,525,713株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報..... 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報..... 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報..... 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報..... 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項..... 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動..... 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用..... 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示..... 4
３．四半期連結財務諸表..... 5
(1) 四半期連結貸借対照表..... 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... 7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間..... 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間..... 8
(3) 継続企業の前提に関する注記..... 9
(4) セグメント情報等..... 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景に緩やかに回復しつつあるものの、電力供給・値上げ問題、長期化する欧州債務問題、中国経済の成長率の鈍化に対する懸念など、依然として厳しい状況にあり、景気の先行きは不透明な状況で推移しています。

（日本）

国内事業につきましては、自動車向け需要は回復していますが、当社主力の建築向け需要は、復興需要が本格化せず低迷しており、販売数量は伸び悩みました。一方、製品価格につきましても、需要の低迷、国際市況の値下がりの影響などにより国内鋼材価格は下落傾向が続きました。

以上により国内事業は、売上高は215億3千4百万円（前年同期比5.1％減）、セグメント利益は34億6千8百万円（前年同期比15.6％減）の結果となりました。

（北米）

北米事業につきましては、米国のマルイチ・アメリカン・コーポレーション（MAC社）、マルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC（Leavitt社）において、主として販売数量が増加したことにより、売上高は36億7千2百万円（前年同期比11.0％増）と増加いたしましたが、Leavitt社の減価償却費の負担増加などによりセグメント利益は1億7千4百万円（前年同期比63.3％減）と大幅に減少いたしました。

（アジア）

アジア事業につきましては、当第１四半期連結会計期間より、自動車・二輪車用のステンレス鋼管を生産するインドの製造子会社であるマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッド（KUMA社）の重要性が増したため、新たに連結の範囲に含めております。売上高は、ベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（SUNSCO社）では数量要因により減少しましたが、KUMA社を連結範囲に含めたことにより、34億9千6百万円（前年同期比3.7％増）と微増となりました。セグメント利益は、のれん代の償却負担が減少したことやKUMA社の寄与により、3千7百万円を計上しました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における業績は、売上高は287億3百万円（前年同期比2.3％減）、営業利益は36億7千8百万円（前年同期比15.8％減）、経常利益は41億6千7百万円（前年同期比15.7％減）、投資有価証券評価損35億3千6百万円の計上などにより四半期純損失は10億4千4百万円を計上いたしました。

尚、対米ドル換算レートは1米ドル79円28銭であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は2,448億5千1百万円（前連結会計年度比43億7千4百万円の減少）となりました。

主な内容は、流動資産については、主として現金及び預金が8億8千9百万円増加したことにより流動資産合計で6億2千2百万円増加しました。固定資産については、有形固定資産が18億5千6百万円増

加しましたが、投資有価証券が株式の時価の下落による投資有価証券評価損の計上及び評価差額金の減少により72億8百万円減少し、固定資産合計で49億9千6百万円減少しました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債は335億6千6百万円（前連結会計年度比12億7千6百万円の減少）となりました。

主な内容は、短期借入金が13億1百万円増加しましたが、未払法人税等が27億7千万円減少したことなどにより、流動負債合計で11億7千6百万円減少しました。固定負債については、株式の時価評価に関わる繰延税金負債が1億4百万円減少したことにより、固定負債合計で9千9百万円減少しました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は2,112億8千4百万円（前連結会計年度比30億9千7百万円の減少）となりました。

主な内容は、配当金の支払などにより利益剰余金が34億6百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月10日に業績予想を公表いたしましたが、鉄鋼製品の市況は、ここ暫くは厳しい状況が続くものと予想されることや、また株式の時価下落に伴う投資有価証券評価損の当期純利益に対する影響などを考慮して、業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

（日本）

国内事業につきましては、鉄鋼製品の市況は、ここ暫くは厳しい状況が続くものと予想されますが、鋼管製品の価格の改善に努めるとともに自動車用鋼管の在庫、切断加工、配送する北上加工センターの建設や丸一鋼販株式会社の岩手県北上営業所の開設などにより販売面の強化をはかってまいります。また収用に伴う東京工場の東京第二工場への集約など生産体制の再構築による生産面の効率化をはかってまいります。

（北米）

北米事業につきましては、売上高は増加しておりますが、新規設備投資に対する償却負担増や販売価格下落に伴う在庫評価損計上により収益面では低下しております。建築用鋼管を主体とした米国Leavitt社では、APIラインパイプの製造を行うための設備改造投資を進めており、エネルギー分野の需要開拓などにより販売数量の拡大をはかり、あわせて収益の改善に努めてまいります。

（アジア）

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社では、上半期では販売数量が減少しておりますが、APIラインパイプの対米輸出の本格的展開と、鋼管及び鋼板製品のJIS取得などにより、販売力の強化をはかり、売上高の増加に努めるとともに、製造設備の整備を進め、品質の向上にも努めてまいります。

インドKUMA社では、自動車用ステンレス鋼管のシェア拡大に努め、収益の拡大を図ってまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,982	58,871
受取手形及び売掛金	29,896	29,747
有価証券	13,038	13,247
製品	7,423	7,702
原材料及び貯蔵品	13,429	12,450
その他	3,554	3,932
貸倒引当金	△232	△237
流動資産合計	125,091	125,714
固定資産		
有形固定資産		
土地	29,915	30,201
その他	34,967	36,537
有形固定資産合計	64,883	66,739
無形固定資産		
のれん	149	207
その他	1,582	1,567
無形固定資産合計	1,731	1,774
投資その他の資産		
投資有価証券	52,843	45,634
その他	4,724	5,034
貸倒引当金	△48	△46
投資その他の資産合計	57,519	50,622
固定資産合計	124,133	119,136
資産合計	249,225	244,851

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,729	11,166
短期借入金	5,661	6,963
未払法人税等	4,380	1,610
賞与引当金	833	343
役員賞与引当金	66	19
その他	3,633	5,024
流動負債合計	26,304	25,128
固定負債		
長期借入金	4,394	4,424
退職給付引当金	3,020	3,003
役員退職慰労引当金	37	39
繰延税金負債	467	362
その他	617	608
固定負債合計	8,538	8,438
負債合計	34,843	33,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	205,332	201,925
自己株式	△19,750	△19,740
株主資本合計	210,998	207,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,514	2,402
為替換算調整勘定	△7,565	△6,916
その他の包括利益累計額合計	△4,050	△4,513
新株予約権	91	85
少数株主持分	7,342	8,110
純資産合計	214,382	211,284
負債純資産合計	249,225	244,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日)
売上高	29,374	28,703
売上原価	22,382	22,495
売上総利益	6,991	6,208
販売費及び一般管理費	2,620	2,529
営業利益	4,370	3,678
営業外収益		
受取利息	49	16
受取配当金	258	261
持分法による投資利益	171	63
匿名組合投資利益	42	－
不動産賃貸料	142	126
その他	145	131
営業外収益合計	810	599
営業外費用		
支払利息	44	36
為替差損	97	－
不動産賃貸費用	72	63
その他	23	11
営業外費用合計	238	111
経常利益	4,942	4,167
特別利益		
投資有価証券売却益	－	196
関係会社株式売却益	448	－
匿名組合清算益	482	－
その他	5	0
特別利益合計	936	196
特別損失		
固定資産除却損	10	4
投資有価証券評価損	1	3,536
災害による損失	39	－
その他	3	0
特別損失合計	53	3,540
税金等調整前四半期純利益	5,825	822
法人税等	2,417	1,766
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	3,407	△943
少数株主利益	249	100
四半期純利益又は四半期純損失（△）	3,158	△1,044

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	3,407	△943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,093	△1,335
為替換算調整勘定	450	906
持分法適用会社に対する持分相当額	285	507
その他の包括利益合計	△357	78
四半期包括利益	3,049	△865
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,660	△1,246
少数株主に係る四半期包括利益	389	381

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第１四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,694	3,307	3,371	29,374	－	29,374
セグメント間の内部売上高又は振替高	33	－	－	33	△33	－
計	22,728	3,307	3,371	29,407	△33	29,374
セグメント利益又は損失（△）	4,111	477	△216	4,371	△1	4,370

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1百万円はセグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,534	3,672	3,496	28,703	－	28,703
セグメント間の内部売上高又は振替高	30	－	－	30	△30	－
計	21,564	3,672	3,496	28,733	△30	28,703
セグメント利益	3,468	174	37	3,680	△1	3,678

（注）１．セグメント利益の調整額△1百万円はセグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．第１四半期連結会計期間において、マルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドを連結の範囲に含めたため、アジア事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた、第１四半期連結会計期間末のアジア事業の資産残高は、18,643百万円（前連結会計年度末16,482百万円）であります。

２ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。